

研修医・指導医リレーエッセー⑦



～指導医としての21年を振り返る～

倉敷成人病センター 卒後研修センター長／研修管理委員長 吉永 泰彦

私が2004年当院に着任した時、新臨床研修制度がスタートし、私は当院の研修管理委員となり、21年間38名の研修医と関わって参りました。2004-11年服部院長、鮑浦研修管理委員長の下での研修管理委員としての8年、2012-18年研修管理委員長としての7年、2019-25年JCEP認定後、10歳若い相田哲史Drが委員長を引き継いでくれ、卒後研修センター長を務めた7年……今回はこの7年間の研修医の写真を見ながら、思い出話をしましょう。

①当院は、2019年NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）に認定され、2023年10月更新しました。岡山県の初期研修基幹施設15施設中、JCEP認定施設は当院を含む4施設のみです。



コロナ前の写真①～⑤

②2019年の倉敷天領夏祭りOH！代官囃子を撮影してくれたのは研修医のDr ETです。当院は、この年まで毎年参加し、10年連続2位の特別賞に甘んじていましたが、今年6年振りに出場し、最優秀賞を狙って、研修医を始め、“チームKMC”全員が練習に励んでいます。

③2018年西日本豪雨の直後、高雄（台湾）で開催されたアジア太平洋リウマチ学会（APLAR）2018でポスター発表する研修医はDr DS（左）で、右は指導医Dr 西山。右は高雄から車と船を乗り継いで訪れた小琉球の名物岩をハンディカムで撮影するDr 宮脇と携帯で撮影するDr DS。

④そうじゃ吉備路マラソンで私達を誘って下さったのは、当院にリウマチ膠原病センターを開設されたDr 宮脇（右）で、岡山済生会総合病院でインターン（実地修練制度）研修をされたそうです。私が大学を卒業した1983年は臨床研修制度は努力規定でしたが、岡山赤十字病院（丸の内と青江）で2年間研修しました。左のサングラス男が7年前に研修管理委員長を継いでくれたDr 相田で、彼はマラソンにハマって、おかやまマラソンのドクターランナーとしてコロナ禍で中止された年を除く6回完走しています。

⑤研修管理委員長をDr 相田に交代後、彼の母校；香川大学の後輩が増加！おかやまマラソンのDr KK、Dr KIとも香川大出身です。

⑥2019-22年コロナ禍世代の研修医が談笑している場所は当院9階レストラン傍のテラスです。左から2番目のDr CSは当院で生まれ、当院で2年研修した直後に当院で出産し、現在、某病院の救命救急センターで専攻医と子育てを両立しています。当院の事務部長が目指す「親子3世代成人病センター」を見事に体現しています。

- ⑦2021年の日本内科学会中国地方会も、
 ⑧eレジフェス2021.9も、コロナ禍のためweb開催でした。
 ⑨日本リウマチ学会中国四国支部学術集会2021秋は松山で対面式で開催され、Dr SEが研修医奨励賞を受賞し、リウマチ科指導医達が現地で祝勝会を開き、現地開催の楽しさを彼女に伝えました。前年の本学会（WEB開催）で、Dr CSは敢闘賞を受賞していたことが判明しました。



コロナ禍の写真⑥～⑨

- ⑩日本内科学会ことはじめ2024（東京）は、対面式で開催され、研修医のDr RTは、「CMVによる伝染性単核球症との鑑別を要した猫ひっかき病の一例」を報告しました。初めての学会デビューが東京国際フォーラムで、発表前にカチコチに緊張している彼を、指導医のDr 小林は心配していましたが、堂々と発表し、質問にもスラスラと回答し、何と「優秀演題賞」を獲得しました！「僕は本番に強いんです」とDr RT! Dr 小林は優秀指導教官賞を受賞しました。



コロナ後の写真⑩～⑭

- ⑪当院は、創業者Dr 須原の「海外で働く日本人達に日本の医療と同等のサービスを提供したい」と言う、グローバルな感性から、1983年シンガポールにJapan Green Clinic (JGH) を、1999年にはJGHデンタルクリニックを、1991年にはロンドンにJGH Medical Centerを、2003年には上海にJGH Green Clinicを開設し、海外で働く日本人の健康を守っています。2年間の研修修了が認められた研修医は4泊5日でシンガポールのJGHなどの医療施設見学を行っています。コロナ禍などで数年実施出来ませんでした。4年前より復活しています。JGHスタッフに、世界一高級なチキンライスを食べに連れて行ってもらった時の写真です。スタッフに囲まれた前列左から2番目がDr YK、3番目がDr RTです。
 ⑫翌日2人はDr 小林一家のマンションに招待され、プールサイドでバーベキューを楽しみました。「僕も将来、こんな生活が出来る医者になりたい」とDr RT。現在2人とも岡大で専攻医PGに励んでいます。
 ⑬今年5/25日本内科学会中国地方会（山口）で初学会発表中のDr 安井昭仁→本稿の彼のリレーエッセイ（研修医版）をお読み下さい。
 ⑭今年5/17マイナビ岡山レジデントにて前列左から高原秘書、Dr AT、Dr 安井、Dr AH、Dr HB。Dr HBは昨年、Dr ATは今年、県医師会主催のWELCOME研修医の会で松山会長にジャンケン大会で勝ち、カッコイイ白衣を頂き、有難うございました。